

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾海老名		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者満足度が非常に高く、「安心して通所している」「夢門塾が大好き」「丁寧な対応に感謝している」との声が多数あります。総合満足度は極めて高水準です。	毎日の清掃・環境整備を徹底し、構造化された空間づくりを意識しています。余計な物を置かず整頓された環境を保っています。	スペースがやや狭いとの声があり、利用人数や活動内容に応じた空間活用のさらなる工夫が求められます。
2	個別支援計画の作成が丁寧で、「しっかり作られている」「意見を丁寧にヒアリングしている」と高い評価を受けています。ニーズ把握と計画作成の質が強みです。	活動が固定化しないようSNS等も参考にしながら新しいアイデアを取り入れています。	スペースがやや狭いとの声があり、利用人数や活動内容に応じた空間活用のさらなる工夫が求められます。
3	個別支援計画の作成が丁寧で、「しっかり作られている」「意見を丁寧にヒアリングしている」と高い評価を受けています。ニーズ把握と計画作成の質が強みです。	避難訓練を定期的実施し、期間を設けるなど全利用児が参加できる工夫を行っています。	非常勤職員への情報共有がやや不足しているとの自己評価があり、伝達方法の強化が必要です。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムや保護者交流機会は限定的であり、今後の充実が期待されます。	物理的な施設面積の制約が根本要因となっています。	空間の使い方を時間帯や活動別にさらに工夫し、安全と活動性を両立させる。
2	スペース面に課題があり、利用人数が多い日は手狭に感じるとの声があります。	業務改善（PDCA）に全職員が参画できていない部分があり、非常勤職員への共有不足が見られます。	非常勤職員も含めた情報共有の仕組みを強化し、PDCAの質を高める。
3	家族会やきょうだい支援の機会が少なく、保護者同士の交流機会も減少傾向にあります。	地域交流は二ーズのばらつきや安全配慮の観点から慎重になりがちで、積極展開が難しい状況があります。	非常勤職員も含めた情報共有の仕組みを強化し、PDCAの質を高める。